

- 1611〈慶長16年〉 ■ 織田信長に仕えた伊藤蘭丸祐広の子、伊藤源左衛門祐道が名古屋本町に呉服小間物問屋を開業。(松坂屋創業)
- 1659〈万治2年〉 ■ 祐道の子、祐基が名古屋茶屋町に呉服小間物問屋を開業し、伊藤次郎左衛門を名乗る。(以来、伊藤家の当主は次郎左衛門を襲名)
- 1736〈元文元年〉 ■ いとう呉服店は、呉服問屋から呉服太物小売商へと転業する。
- 1740〈元文5年〉 ■ 尾張徳川藩の呉服御用達になる。
- 1745〈延享2年〉 ■ 京都仕入店を室町姉小路に開設。  
(1749年新町通六角(現在地)に新築移転)
- 1768〈明和5年〉 ■ 上野広小路の松坂屋を買収し、「いとう松坂屋」として開業。
- 1907〈明治40年〉 ■ 上野店を洋風建築、陳列式に改め、「合資会社いとう呉服店(資本金25万円)」と改組し、独立採算経営に移す。女子販売員を置く。
- 1910〈明治43年〉 ■ 資本金50万円で「株式会社いとう呉服店」を設立。名古屋市栄町角に名古屋地方初のデパートメントストアとして名古屋店を新築開店。
- 1911〈明治44年〉 ■ いとう呉服店少年音楽隊を結成。(現在の東京フィルハーモニー交響楽団)
- 1917〈大正6年〉 ■ 上野店新本館完成。(1923年関東大震災により全焼)
- 1918〈大正7年〉 ■ デパート業界初の制服を制定。  
(縞の木綿にモスリンの帯という和服スタイル)
- 1924〈大正13年〉 ■ 銀座店が現在地に開店。デパート業界初の全館土足入場を実施。
- 1925〈大正14年〉 ■ 商号を「株式会社松坂屋」に改める。
- 名古屋店が南大津町(現在地)へ移転。
- 1929〈昭和4年〉 ■ 上野店新本館を現在地に再建。
- デパート業界初のエレベーターガールが上野店に登場。
- 1930〈昭和5年〉 ■ 地下鉄銀座線上野広小路駅と上野店の地下売場が直結。
- 1932〈昭和7年〉 ■ 静岡店開店。
- 1957〈昭和32年〉 ■ 上野店南館増築。
- 染織参考館を京都に設置。
- 1966〈昭和41年〉 ■ 銀座店屋上で生きた動物大バーゲン開催。
- 1971〈昭和46年〉 ■ 岡崎店開店。
- 1972〈昭和47年〉 ■ 銀座店別館を増築し、地下鉄銀座駅との地下連絡通路が開通。
- 名古屋店北館増築。
- 1974〈昭和49年〉 ■ 名古屋駅店開店。
- 1979〈昭和54年〉 ■ 高槻店開店。
- 1991〈平成3年〉 ■ マツザカヤMYカード発行。
- 名古屋店南館増築で三館体制となる。
- 名古屋店南館に「松坂屋美術館」開設。
- 企業理念制定。
- 1993〈平成5年〉 ■ ホームページを開設し、インターネットショップを開始。
- 1995〈平成7年〉 ■ 静岡店北館増築。
- 1996〈平成8年〉 ■ 社員行動指針制定。営業取引基本規定制定。
- 1998〈平成10年〉 ■ 松坂屋環境計画策定。新情報システムスタート。
- 2000〈平成12年〉 ■ 豊田店開店。
- 2001〈平成13年〉 ■ 名古屋店新南館増築で日本最大級の売場面積(86,758m<sup>2</sup>)となる。
- 2003〈平成15年〉 ■ 執行役員制度導入。個人情報保護管理規定制定。
- 2004〈平成16年〉 ■ 愛・地球博会場に公式記念品ショップ出店。
- 2005〈平成17年〉 ■ 純粋株式会社「(株)松坂屋ホールディングス」を設立。
- 2006〈平成18年〉

共同持株会社J.フロント リテイリング株式会社を設立し、経営統合。

- 2007〈平成19年〉 ■ 営業改革をスタート。
- 2008〈平成20年〉 ■ 外商改革をスタート。
- 大丸との情報システム統合。

1社化により、株式会社 大丸松坂屋百貨店誕生。



歌川広重が画いた松坂屋



1910年、栄町に新築開店した名古屋店



業界初の制服(きもの)を着た女性たち



いとう呉服店のポスター



百貨店で初めて土足入場を実施した銀座店の店内風景



現在地である南大津町(当時)に移転した名古屋店



上野店のエレベーターガールたち